

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:令和6年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	建設部都市・まちづくり課(松本建設事務所)
指定管理者	株式会社TOY BOX

1 施設名等

施設名	長野県松本平広域公園	住所	松本市神林5300
		電話	0263-57-2211
		ホームページ	https://shinshu-skypark.net/

2 施設の概要

設置年月	平成6年4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため。		
施設内容	競技スポーツゾーン 陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、国体の森、ピクニック広場、マレットゴルフ場 ターミナルゾーン やまびこドーム、東管理棟、やすらぎ広場、イベント広場、大型木製遊具、展望台、修景池、里の水景、バーベキューピット、 ファミリースポーツゾーン 南管理棟、サイクルセンター、ランニングステーション、パターゴルフ場、大芝生広場、遊具、ニュースポーツ、ミニ滑走路 野と花のゾーン 展望広場、ワイルドフラワー園、玉石広場、風の丘 花のプロムナードゾーン バラ園、花木の小径 みどりのプロムナードゾーン ストリートバスケットコート、クライミングウォール、壁打ちテニスコート みどりの交流ゾーン 総合球技場(サンプロアルウィン)、芝生グラウンド、多目的広場、マレットゴルフ場 開園面積:141.6ha		
利用料金	有料施設:陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、総合球技場、芝生グラウンド、やまびこドーム、ランニングステーション、東管理棟、パターゴルフ場(施設により料金は異なる。)		
開所日	年中無休		
開所時間	8:30～22:00		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	財団法人長野県公園公社
平成18年度～20年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	TOY BOX
平成21年度～25年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	TOY BOX
平成26年度～30年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	TOY BOX
平成31年度～令和5年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	TOY BOX
令和6年度～令和7年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	株式会社TOY BOX

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	株式会社TOYBOX	指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)
選定方法	公募(応募者数:1)・非公募(随意指定)		

5 指定管理料(決算ベース)

令和6年度(A)	令和5年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
412,059 千円	411,815 千円	244 千円	
	増減理由	松本平広域公園魅力向上推進事業経費が増加したため	

6 指定管理者が行う業務

(1) 都市公園(建物、備品等を含む)の維持管理に関する業務及びこれに付帯する業務
(2) スポーツ施設等の利用許可及び利用料金に関する業務並びにこれに付帯する業務

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度(A)	58,524	54,577	41,063	34,780	23,205	31,747	54,140	38,875	19,714	5,789	6,820	24,391	393,625
令和5年度(B)	36,766	43,182	26,527	42,323	31,020	32,091	64,522	32,046	14,224	6,089	5,664	34,738	369,192
(A)/(B)	159.2	126.4	154.8	82.2	74.8	98.9	83.9	121.3	138.6	95.1	120.4	70.2	106.6
増減要因等	減少要因:総合球技場多目的室等、利用の減少(△1,108) 増加要因:陸上競技場閉場により大会等が補助競技場にて開催されたため(+3,498)、総合球技場、Jリーグプレーオフの試合で動員が増えた影響で(+3,246)やまびこドーム、大型イベントの誘致、スポーツ・会議室利用増で(+14,506)、東管理棟認知向上による新規利用により(+1,766)												

(様式2)

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度(A)	7,875	7,071	5,458	5,493	3,081	4,088	8,522	4,842	4,069	1,584	1,475	3,962	57,520
令和5年度(B)	5,574	8,407	4,098	6,715	4,203	5,016	7,296	6,003	2,911	1,596	1,736	6,938	60,493
(A)/(B)	141.3	84.1	133.2	81.8	73.3	81.5	116.8	80.7	139.8	99.2	85.0	57.1	95.1
増減要因等	減少要因: 東管理棟の利用人数は増、利用件数が減(△59件)、中でも金額の高いホール利用が減(△194)、総合球技場、照明・映像装置の使用料金減、グラウンド・会議室利用減により(△3,510) 増加要因: 陸上競技場閉場により大会等が補助競技場にて開催されたため(+298)、やまびこドーム、大型イベントの誘致、スポーツ・会議室利用増で(+127)、パターゴルフが(+100)												

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有・ <input checked="" type="radio"/> 無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和6年度(A):365日	令和6年度(A): 8:30~22:00	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
令和5年度(B):366日	令和5年度(B): 8:30~22:00		

(5) サービス向上のため実施した内容

- ・サンプロアルウインの管理作業で発生した芝生を無料配布し特別感もある施設をより身近に感じてもらえる地域交流を実施した。
- ・インターンシップや、ごっこプロジェクト・芝生整備、社会見学対応等を行った他、県の「ジョブキッズしんしゅう」企画に協力するなど新しい取組を展開し職場体験や施設見学の場を提供した。
- ・サンプロアルウインのコーナートイレにサイン看板を設置し、トイレ内のブース図表記を行い、より細かに情報を提供できるようにした。
- ・夜間巡回パトロールで不審者等の確認、悪戯行為の防止啓発活動を行った。スカイロード10の夜間外灯の状況を確認し、暗いと思われる箇所には照明設備の増加配線、追加設置を実施し夜間利用者への安全安心の配慮を行った。
- ・好評のサンプロアルウイン・芝生の無料開放イベントを県と協働で開催し、普段なかなか利用できない芝生のグラウンドを一般開放した。
- ・バラ園・親水広場など、人が多く集まる場所周辺にキッチンカーを展開、移動販売を強化し来園者へのサービス向上を図った。

(6) その他実施した取組内容

- ・毎日1回の巡回清掃のほか、午後の巡回、園内外清掃を実施した。また、各窓口(やまびこドーム・東管理棟・体育館)の担当業務に加え園内やトイレ内の巡回を実施することで、清潔感の向上、事件事故・悪戯の未然防止、利用者マナー向上に努めた。
- ・利用者要望箇所にドックステイを即座に設置するとともに他の見直しを行い要望がない箇所へも積極的にドックステイを設置し、利便性の向上に努めた。
- ・南管理棟おもしろ自転車の転落防止用タイヤバリアが経年劣化していたため、スタックブロックに交換し安全を確保した。
- ・清掃ボランティアの清掃作業を園内3回・サンプロアルウイン・スタンド1回・園路1回・ドーム周辺1回をボランティア団体や有志の方と実施し、園内及び周辺の景観美化維持保全、マナー啓蒙活動に努めた。
- ・夜間パトロールを実施。防犯だけでなく街路灯の球切れなどのチェックを加え、来園者の安心安全をサポートした。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

- ・犬の糞が歩いている時に目に入ってしまう。立て看板を設置してください。
⇒ 該当箇所を含めた各所へ注意喚起の看板を工夫を加えて設置した。また、通常巡回時における清掃の他、犬を伴ったボランティア活動等(自主事業: 伴に歩こうワンダフルゴミ拾い)を実施した。
- ・FDAの発着時間が知りたい、時刻表を増やして欲しい。⇒ QRコード利用による案内、マレット大会開催表示看板周辺、人通りの多い東屋への掲示を実施した。
- ・花のある場所、花期がわからない。
⇒ 園内施設・空港管理事務所に花マップを作製し常設を開始。花期に関する事項のほか駐車場・トイレの位置も判りやすく表記した。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ●協定書、仕様書及び事業計画書に基づき、年間の公園管理計画書に従って管理運営を実施した。また、必要に応じて県と打合せのうえ協議を行い、臨機応変な管理運営を行った。 ●適切な施設の管理運営となるよう防災訓練(2回/年)救命救急講習などの他、電気主任技術者・公園管理運営士などの資格取得や資格更新・バラクライングリッシュガーデンへの講習会などに参加し公園スタッフとしての意識向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書、仕様書及び事業計画書に基づき、適正な管理運営を実施したと認められる。 ・各種講習会等の参加や公園管理向上のための資格取得等、松本平広域公園魅力向上推進事業に係るバラクライングリッシュガーデンの講習会への参加など、公園スタッフのスキルや意識向上に努めている。 	A
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●競技スポーツ施設利用者調整会議を実施し、公正な施設利用機会の提供を図り、次年度の体育館利用再開に向け準備を整えた。 ●ホームページや多くの人が閲覧するInstagram・facebook・Xを複数のスタッフで随時更新、補助競技場の空き状況公開や色々な視点の投稿をすることで幅広い世代の方へ平等に広報した。 ●バーベキューピットの利用が多い時期には場所取り禁止の表示等を設置した。また現地にて場所取りとならないよう配慮を頂くよう依頼するなど平等な利用になるよう対応を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者調整会議を行うことで、公正な利用機会を提供し、公園の平等利用に努めた。またこの会議において体育館の利用再開が円滑に行なわれたと認められる。 ・ホームページ、Instagram、Xなどを随時更新し、幅広い世代の人が平等に利用できるような広報を行った。 ・時期によって混雑がみられるバーベキューピットにおいて、平等に利用できる様な工夫を行いトラブルの予防に努めている。 	A
利用者サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●各施設の競技用具(ネット類・競技準備用具)等の更新・追加等を行い良好に施設利用できるように整備した。 ●蜘蛛の巣の発生が多いトイレ、照明柱、案内看板等を中心に、予防対策として蜘蛛の忌避剤散布(年2回)を行い、清潔感を維持できるように努めた。 ●陸上競技場整備事業や体育館改修・スタンド座席改修などの県発注施設改修工事が円滑に進むよう密な打合せ調整等を行うことで、設備の効果的な増強や利用者への利便性、快適性、安全性、サービス等の向上に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者が良好に競技を行うことができるよう、適切な競技用具の管理が行われている。 ・汚れが目立ちやすいトイレ等の施設は薬剤散布を行うことで、利用者が気持ちよく公園施設を利用できるよう努めた。 ・陸上競技場や体育館といった工事が多い年度において、県と施設改修等工事に係る打合せを適切に行い、利用者へのサービス向上に繋がった。 	A
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ●例年の「お見送りイベント」に加え、クリスマスにサンタに扮した大勢でお見送りをする「サンタさんと一緒にひこうきをお見送りしよう」を開催し好評を博した。 ●「園内ガイドツアー春」を開催、「ハンチナキ」「ナンジャモンジャキ」など珍しい木の多いターミナルゾーンで行い、滝流れやトランジット広場など散策しながら植物の解説、季節折々の見どころを紹介した。 ●ボランティア「森守りの会」を実施、チップの小径づくりなど森林整備を行い、参加者には公園で発生した薪を持ち帰ってもらう循環型の企画となりSDGsに寄与する事も出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年行うイベントの開催時期を工夫するなどし、利用者がより楽しめる自主事業に取り組んでいる。 ・公園利用者に公園をより知ってもらうという観点にも着目して自主事業が企画されている。 ・公園の整備を行うだけでなく、国際的な目標であるSDGsにも寄与するような幅広い視点で自主事業が企画されている。 	A
職員・管理体制	<p>常勤職員:42名、非常勤職員:4名、計46名</p> <ul style="list-style-type: none"> ●仕様書及び事業計画書に基づく職員配置を行うとともに、事件事故・災害対応など本社と連携し体制を強化して対応した。 ●有資格者の施設点検を適宜実施。公園管理運営士や遊具点検講習者等の巡視により安心安全な公園管理運営に努めた。 ●園内のネットワークカメラを5基追加し合計49基を運用一括監視、オフラインカメラ28基も活用し安全及び防犯の向上に努めた。 ●植物等の専門知識を有した職員が管理する事でバラ園や花木を充実させ魅力向上推進事業と連携し美しい公園づくりを実践した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員を適正に配置するとともに、事件・事故、災害においては本社とも連携するなど利用者の立場に立った適切な体制が認められる。 ・有資格者の点検を適切に実施することで安心・安全な公園管理を行い、公園利用者の事故等の予防に努めている。 ・ネットワークカメラを増設・監視することで公園利用者の安全や防犯に寄与している。 ・植物の専門知識を有した職員による管理を行うことで、公園利用者から好評のバラ園の魅力や松本平広域公園魅力向上推進事業の向上に寄与している。 	A
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> ●本業収入(477,957千円)と自主事業収入(38,467千円)の収入合計516,424千円に対し、支出の圧縮を図り、本業支出(474,321千円)と自主事業支出(35,578千円)の支出合計509,899千円とした。結果、収支差額は6,525千円となり、堅実な運営を行うことが出来た。 ●DIM修繕を行うことによりコスト削減を図り、外注費を抑える事が出来た。(対概算外注費用比-5,706千円) ●光熱水費が高騰する中デマンド管理を徹底し支出の削減に努めた。(+194千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱費、人件費の高騰が続く中で、DIM修繕・デマンド管理による支出の削減を図り、堅実な運営ができています。 	B
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の努力の積み重ねや安心安全な公園づくりの結果として有料施設利用者数は前年比約2.4万人増の39.4万人となり多くの方にご利用いただけた。 ●更新を必要とする照明器具は積極的にLED化するなどし、またデマンド管理を徹底することで、高騰する光熱水費の削減に努めた。 ●落雷大雨発生時には現地緊急対応を実施した。また県と協力し不具合個所の特定調査、施設復旧に努めた。今後の予防措置対応として避雷器追加設置、被害軽減対応策の構築を実施した。 ●園内看板の配置場所・看板の形状を検討し、より視認されやすいよう創意工夫を凝らし、モラルマナー向上・啓蒙活動となるよう対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格者による点検や表示等の工夫、防犯カメラの運用等、様々な視点から安心・安全に利用できる公園づくりが行われている。 ・光熱費が高騰する中で、デマンド管理や照明LED化等、様々な方法でコスト削減に努められている。 ・緊急時における適切な対応と同様の事態が発生しないような予防措置も行われ、安心・安全な公園づくりに寄与している。 ・園内看板設置の工夫や啓蒙活動により、利用者の多様化によるトラブルの予防に努められている。 	A

- <評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の多様化によるモラル・マナーの低下への対策 ●長寿命化調査を元に老朽化する施設・備品に対しての予防的修繕体制の構築 ●継続した大型イベント事業、販売事業等の新規自主事業による賑わい創出と利用の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と連携し、SNSを活用するなどして不適切な公園利用対策やモラル、マナーの啓蒙を含めた広報活動の取組を進めていきたい。 ・多くの方々が利用する空間と施設を有する松本平広域公園は国民の貴重な財産であるため、指定管理者と連携を図りながら各施設の長寿命化対策を実施する。 ・指定管理者の自主事業を共催・後援することで後押しし、維持管理の負担軽減に努め、さらなる賑わい創出や魅力向上など図っていきたい。

(様式2)

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:令和 年 月 日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課